



IPCC報告とCOP 日本の課題

-人類の将来がかかっている-

2014/9/21
第19回環境学校
浅岡美恵
気候ネットワーク代表・弁護士
<http://www.kiconet.org/>



日本でも世界でも、気候がおかしい

- 猛暑日
- スーパー台風
- 1時間雨量100mmを超える豪雨
- 斜面崩壊
- 極端少雨 山火事



大雨で冠水した道路＝11日午前0時28分、兵庫県伊丹市、加藤諒撮影

豪雨 池田で1時間120mm

兵庫県東部と大阪府西部で10日深夜から11日未明にかけて、猛烈な雨が降った。大阪管区気象台によると、11日午前0時までの1

時間で大阪府池田市付近で120mm、兵庫県伊丹市付近で90mmの雨が降ったとみられるという。同気象台は

間に池田市付近で100mmの雨が降ったとみられるとして、記録的短時間大雨警報を発表した。

気象台によると、上空の寒気に南から湿った空気が流れ込んで猛烈な雨になったとみられるという。

伊丹市役所によると、床上や床下浸水の被害を訴える電話が11日午前1時までに50件ほどあったという。職員らは通報のあった民家に土嚢を持って回るなど対応に追われたという。

関西電力によると、10日午後11時18分から、伊丹市北本町や北河原、下河原地区で約760軒の停電が発生した。池田市でも一時約90軒が停電した。関西電力によると、雷や雨が原因の可能性もあるという。

池田市消防本部によると、午後11時20分過ぎから「家が床下浸水した」といった119番通報が10件近くあったという。「道路が冠水している」といった通報も相次いでいるという。

異常気象の新造語

ゲリラ豪雨 スーパー台風

1 13版 2014年(平成26年)8月18日(月)

大雨により冠水した京都府福知山市の市街地
 =17日午前11時57分、本社ヘリから川平愛撮影



インド北部や隣接するパキスタン近を襲った洪水として

10日、台風で破壊されたタクロバタン市内で、身の回りの品を持ち歩く生存者たち。ロイター



にく活ゴった次まる





広島市斜面崩壊



平成26年8月26日
14:30 ~ 18:45
国土地理院撮影

土砂に家が押し流された現場では、搜索活動が行われていた
=20日午前8時55分、広島市安佐南区、本社ヘリから、森井英二郎撮影



カリフォルニア 旱魃 山火事



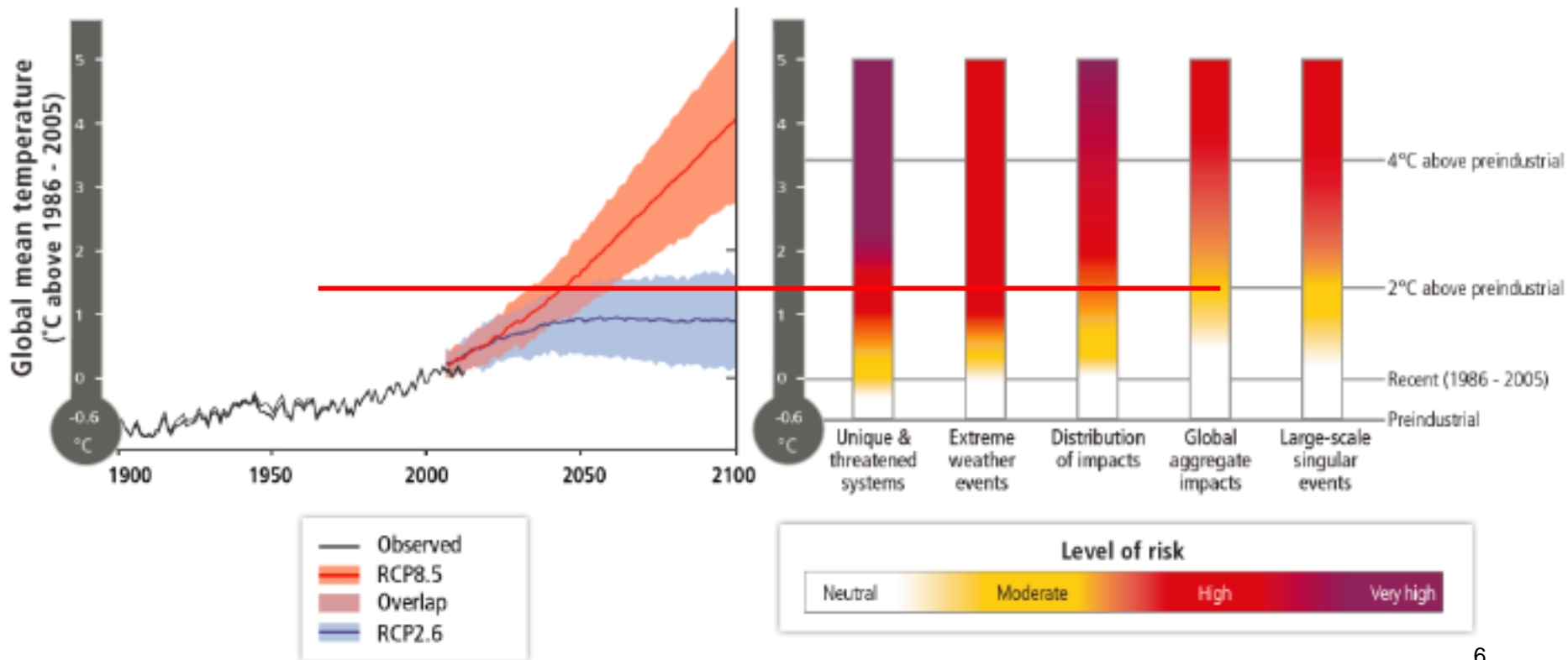
①残り火を消火する消防士 ②大規模な山火事跡を本社



気温が高くなるほど、異常気象が重く、広範に

FINAL DRAFT (FGD)

IPCC WGII AR5 Summary for Policymakers

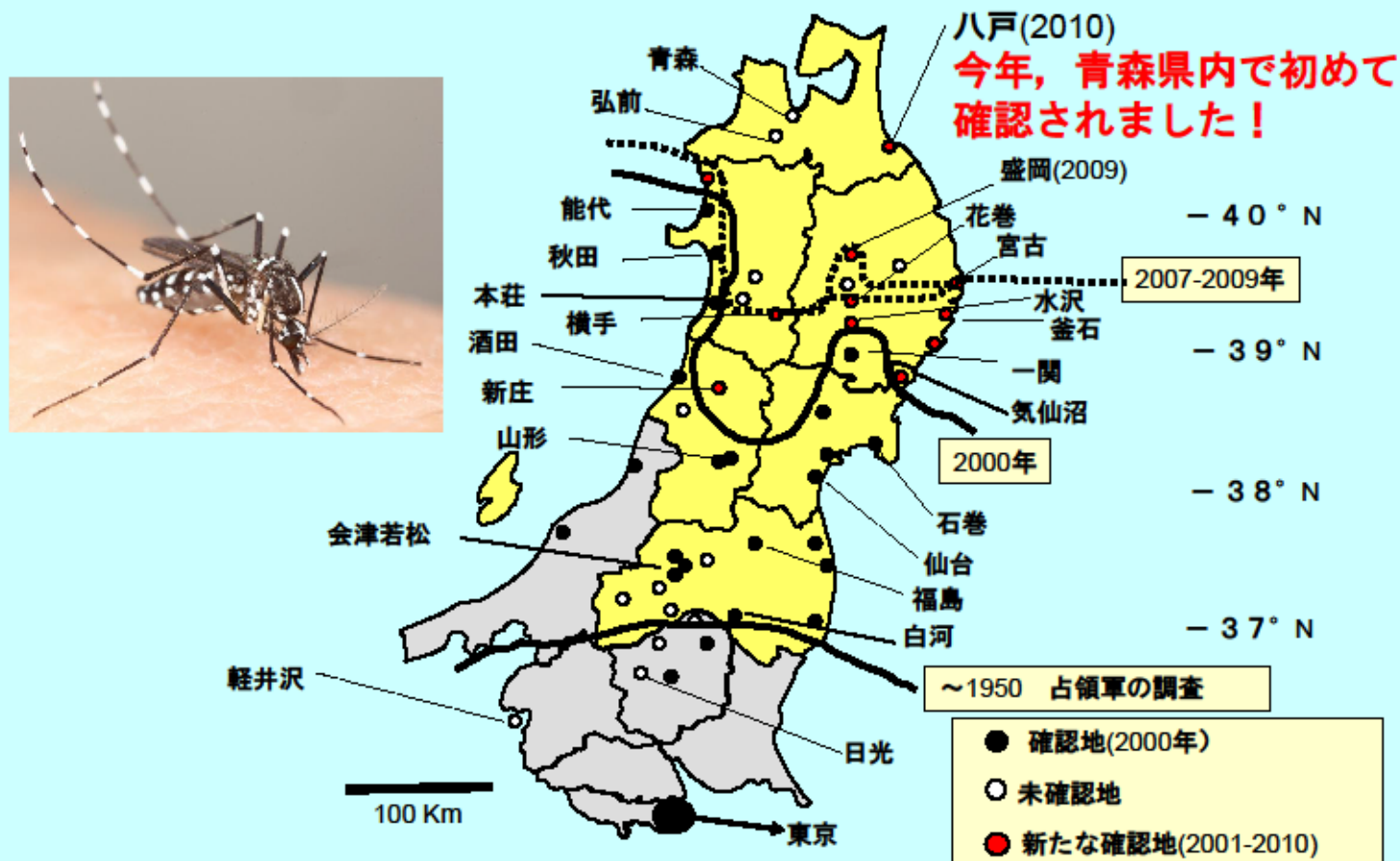


生命健康への影響

熱中症 ヒトスジシマカ・デング熱



東北地方におけるヒトスジシマカの分布域の拡大





IPCCとは

IPCC : Intergovernmental Panel on Climate Change (気候変動に関する政府間パネル)

- 設立 世界気象機関(WMO)及び国連環境計画(UNEP)により1988年に設立された国連の組織
- 任務 各国の政府から推薦された科学者の参加のもと、地球温暖化に関する科学的・技術的・社会経済的な評価を行い、得られた知見を政策決定者を始め広く一般に利用してもらうこと
- 構成 最高決議機関である総会、3つの作業部会及び温室効果ガス目録に関するタスクフォースから構成

IPCCの組織

IPCC総会

第1作業部会(WG I) : 科学的根拠

気候システム及び気候変化についての評価を行う。

共同議長 Dahe Qin (中国)
Susan Solomon (米国)

第2作業部会(WG II) : 影響、適応、脆弱性

生態系、社会・経済等の各分野における影響及び適応策についての評価を行う。

共同議長 Martin. L .Parry (英国)
Osvaldo. Canziani (アルゼンチン)

第3作業部会(WG III) : 緩和策

気候変化に対する対策(緩和策)についての評価を行う。

共同議長 Ogunlade Davidson (シエラレオネ)
Bert Metz (オランダ)

温室効果ガス目録に関するタスクフォース

各国における温室効果ガス排出量・吸収量の目録に関する計画の運営委員会。

共同議長 Taka Hiraishi (日本)
Thelma Krug (ブラジル)

IPCC 科学者たちの警告



- 1988年に、世界気象機関(WMO)と国連環境計画(UNEP)によって設立
- 自ら新しい調査・研究を行うのではなく、既に発表された論文を評価し、政策決定者に報告。
- 1990年 第1次
1995年 第2次
2001年 第3次
2007年 第4次
2013-14年 第5次レポート(AR5)
3月に横浜で第2作業部会が開催



水ストレス増加に直面する追加的人口

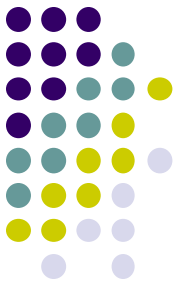


(第5次評価報告書 AR5)

「気候システムの温暖化は疑う余地がない」

「今後、何世紀にもわたって持続する」

IPCC 今後、どうなるのか？



大気の平均気温

- ・最大4.8°C

2°Cを超える可能性 高い確信度

- ・極端な高温の頻度が増加、極端な低温の頻度が減少することはほぼ確実。

海水温

- ・上昇し続ける

降水

- ・乾燥地帯、湿潤地帯の差、乾季と雨季の差異が増加。

北極海 海氷域が小さく、薄くなる

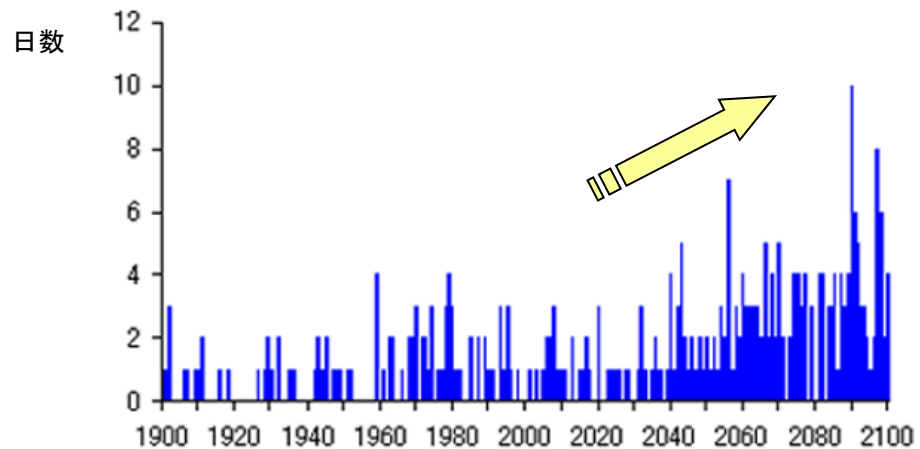
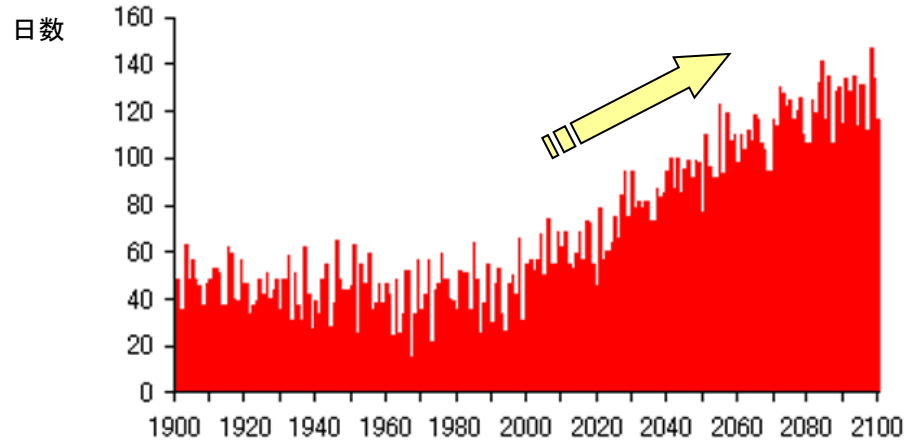
日本でも、暑い日の増加、寒い日の減少は確実

- 地球温暖化の進行とともに真夏日日数が増える
- 夏季において、日降水量が100mmを超えるような日数も地球温暖化の進行とともに増加する

※1 日最高気温30℃以上となる日のこと。

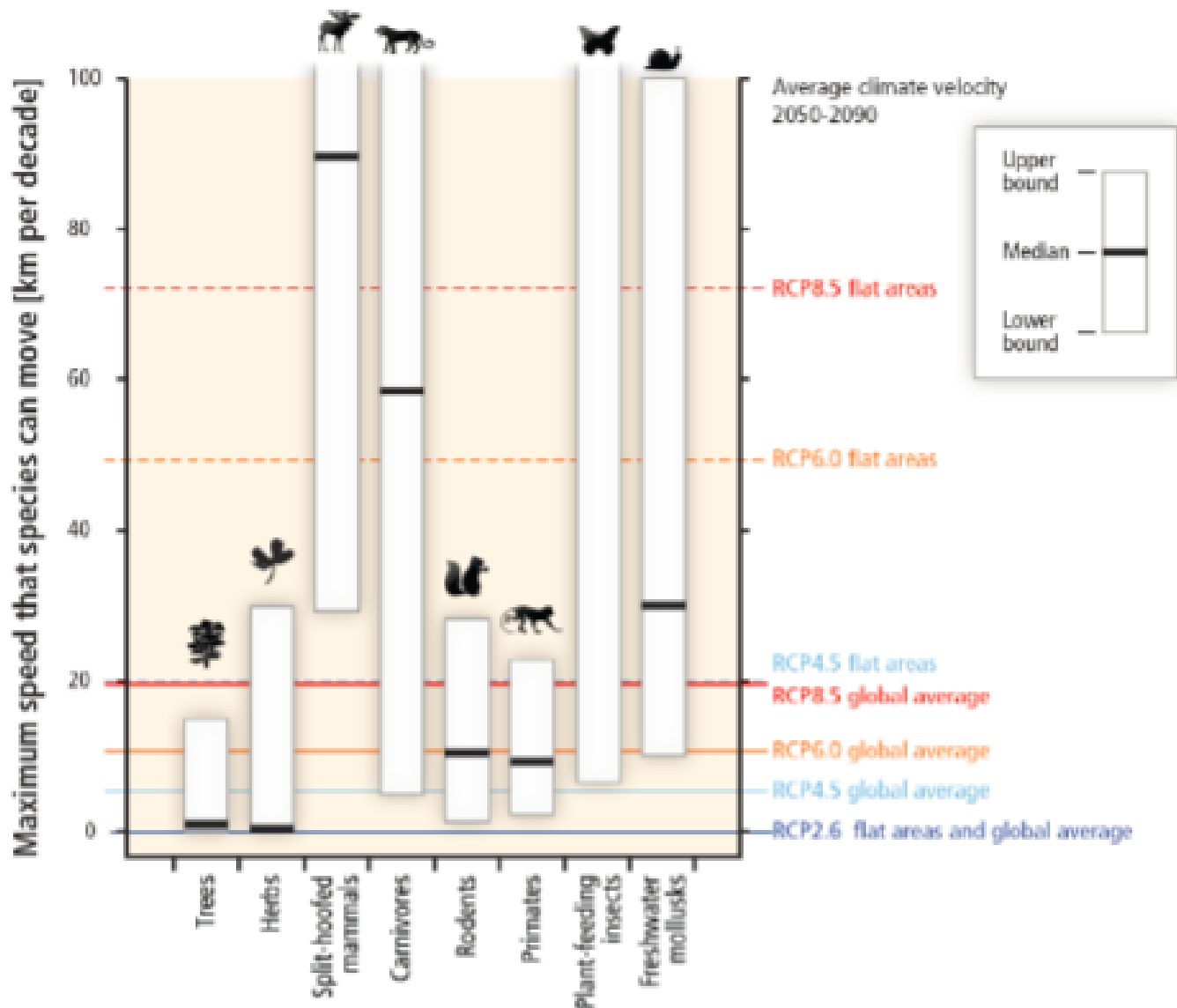
※2 日降水量が100mmを超える日数のこと。

日本の真夏日※1数(上図)と夏季の豪雨日数※2(下図)の経年予測

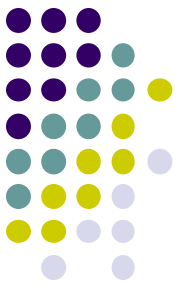


SRESA1Bシナリオに基づいて予測 年

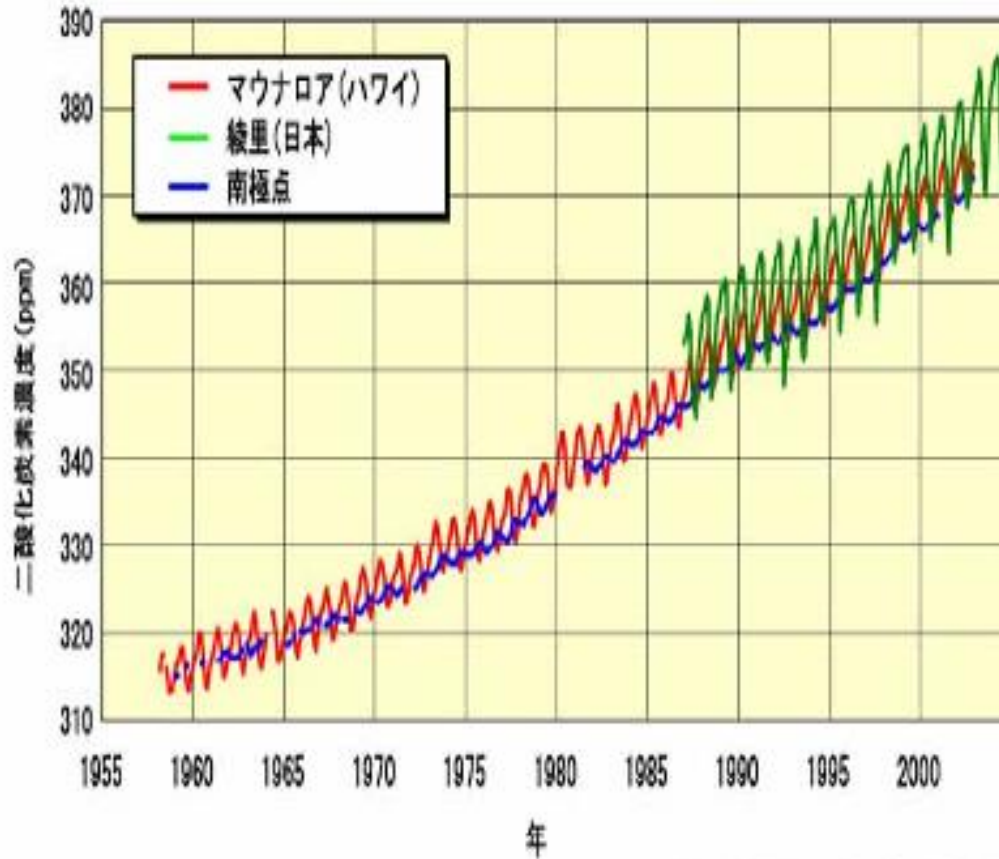
生き物が年に移動できる距離は小さい



大気中の二酸化炭素の濃度を実測してみると(～1958年)



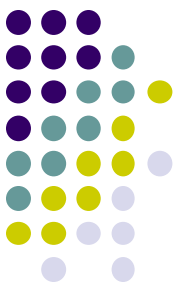
大気中の二酸化炭素濃度の経年変化 (過去50年)



出所) 気候変動監視レポート2004

そこで、二酸化炭素などの排出を減らすための交渉が始まった。

国際政治の動き 京都議定書採択、将来的に、 全球平均気温の上昇を**2度未満**に止める努力



国際交渉における長期目標の言及

2009年ラウイラG8サミット首脳宣言

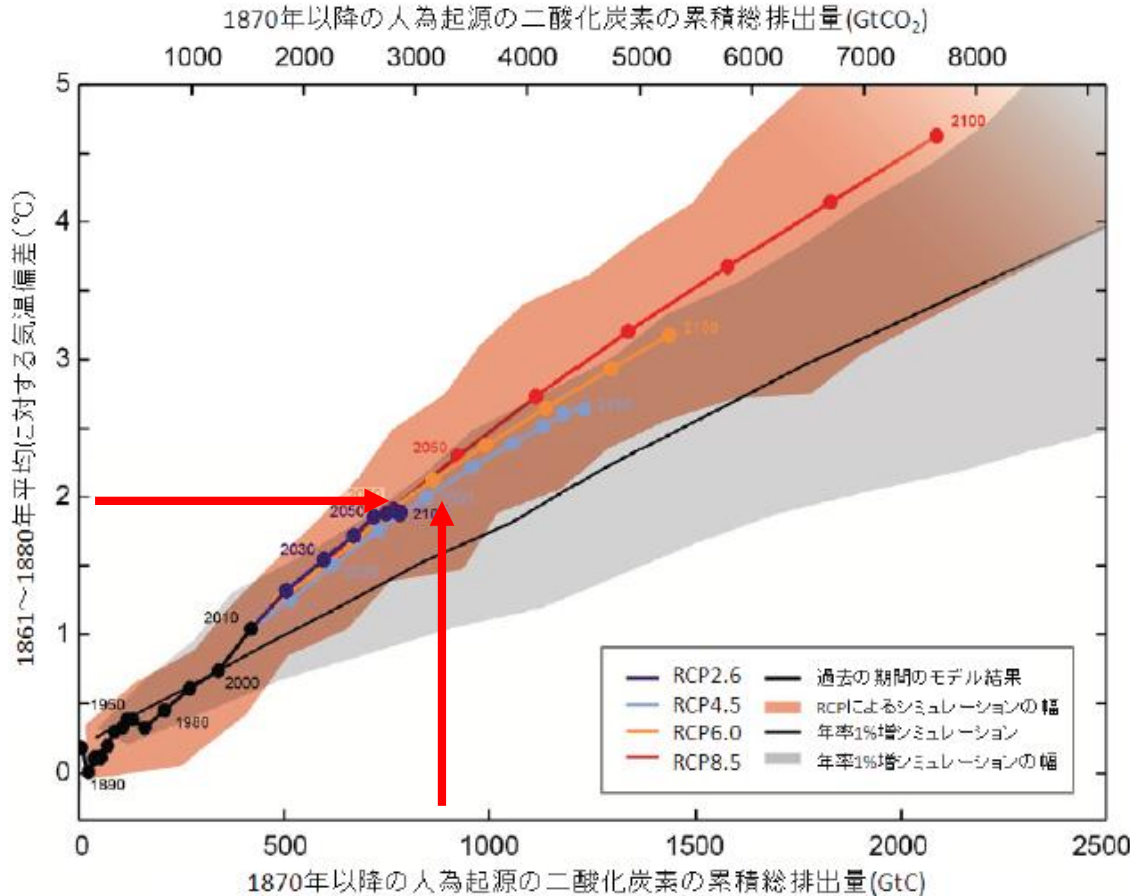
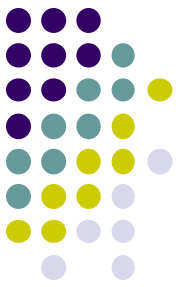
「我々は、産業化以前の水準からの世界全体の平均気温の上昇が**摂氏2度を**超えないようにすべきとの広範な**科学的見解**を認識する。」

「...我々は、**2050年までに世界全体の排出量の少なくとも50%の削減**を達成するとの目標を全ての国と共有することを改めて表明する。」

2009年COP15・コペンハーゲン合意

「...我々は、世界全体の気温の上昇が**摂氏2度より下にとどまるべきであるとの科学的見解**を認識し、...」

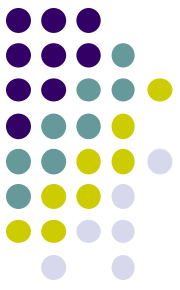
AR5 二酸化炭素の累積排出量と世界平均気温の上昇量は、ほぼ比例関係にある



今のままの排出を続けると、**あと30年以内**に2度未満達成のレベルは超えてしまう。
 喫緊に大幅な削減が必要

2度未満をとどめるには:
 2011年までに排出されたCO₂:
残りの排出量枠:
2012年のCO₂排出量:

790 GtC
 -515 GtC
275 GtC
9.7 GtG/yr



気候変動 亜熱帯化する日本

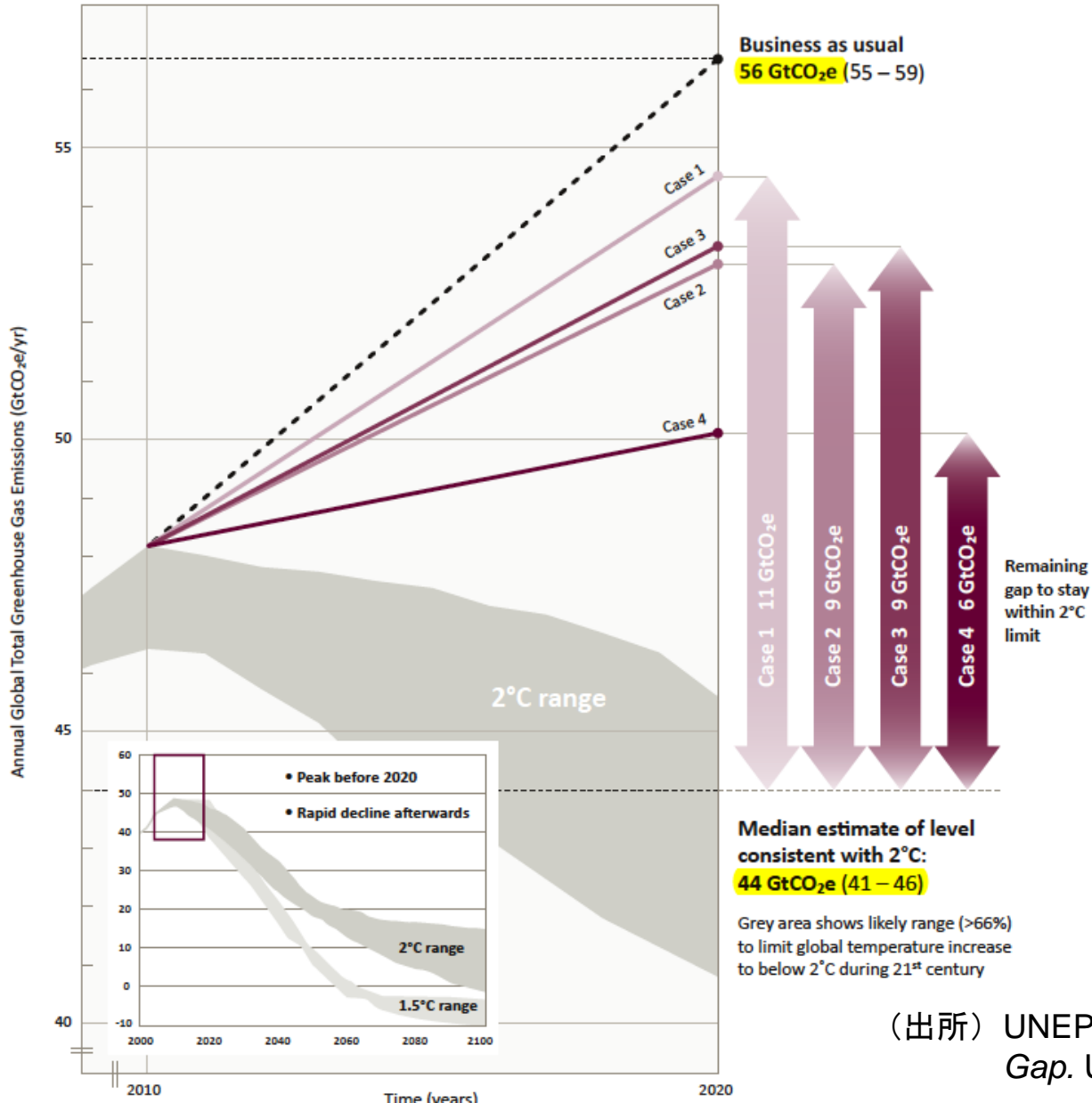
- 異常気象が地球温暖化によるとは、直ちにはいえないが、
- IPCC科学は、地球温暖化によって、高温化、極端現象の頻度、程度が増すと指摘
- 産業革命前から平均気温で2°C程度の上昇に留めるには、地球全体での今後のCO2排出量は現在の30年分程度

2°Cには足りない各国の自主削減目標



どの国も目標の深堀が必要

The emissions gap



各国が誓約した削減水準

6~11Gt
(60~110億t)

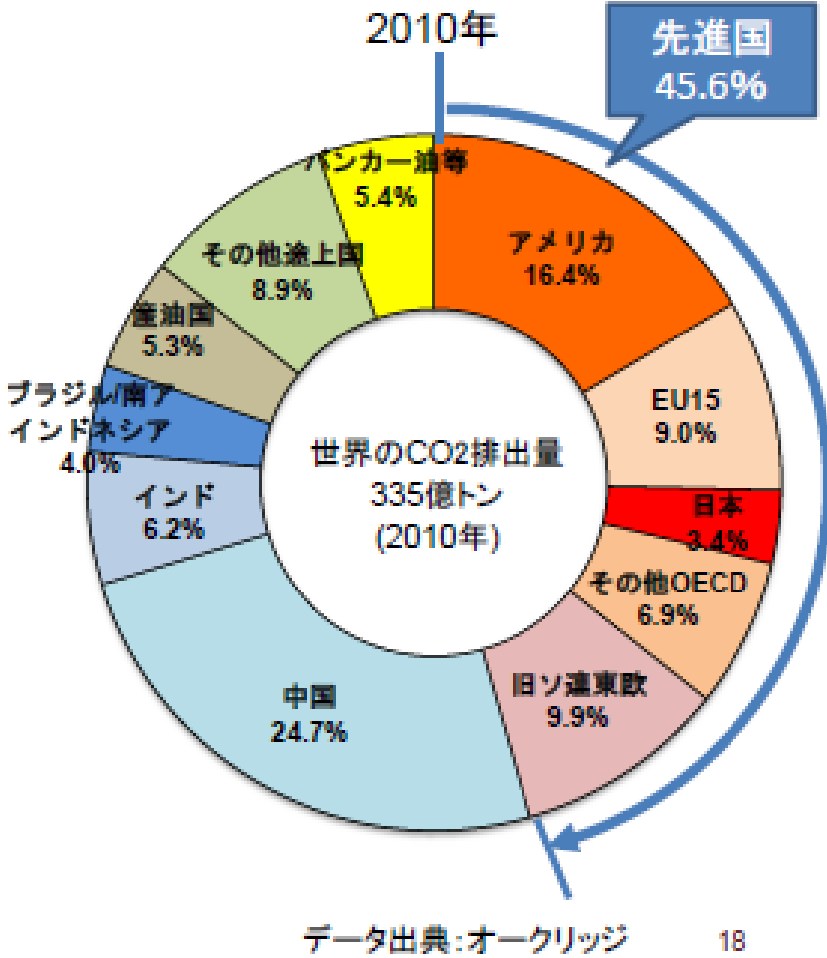
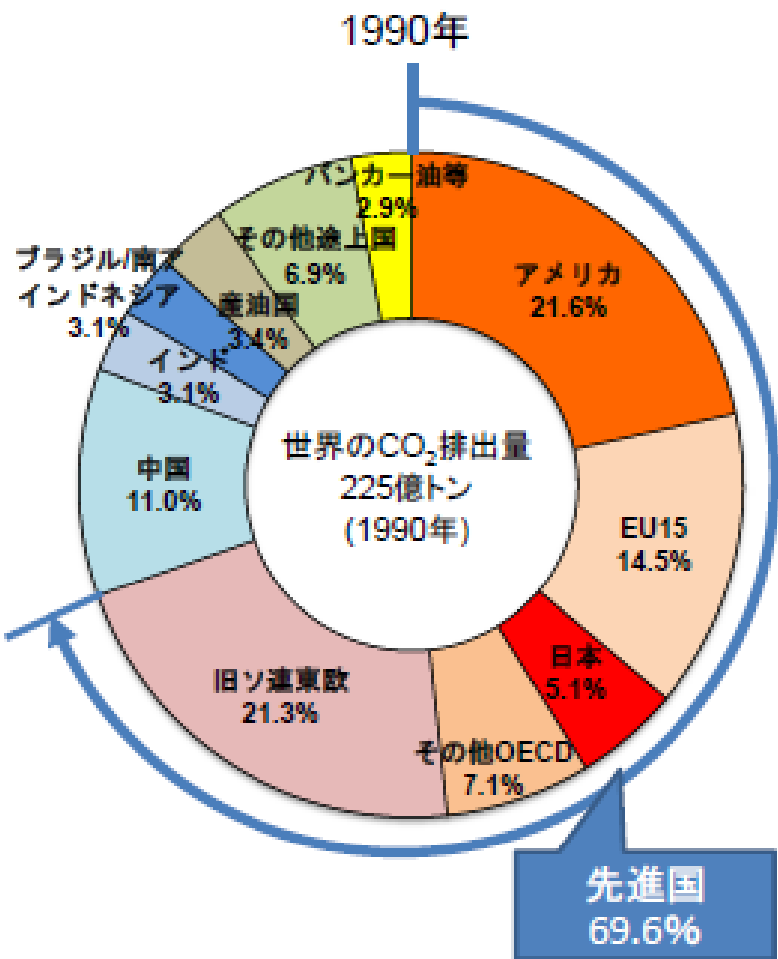
2度未満
44Gt

(出所) UNEP (2011) *Bridging the Emission Gap*. UNEP.



世界中の日本 3.4%

中国、インドの重み増すが、日本は世界5位





日本のCO2排出量目標

長期目標(2050年・90年比80%削減)は維持しているが、
2020年目標 90年比+3.1%(-25%目標は撤回)

世界から批判されている

温室効果ガス排出目標「2005年比3.8%減」の意味
=1990年比4%増

